

12 月 16 日は電話の日 電話帳はトリビアの宝箱！！ ～ 日本一の発行部数 年間 1 億 1000 万冊以上！～

NTT 番号情報株式会社（代表取締役社長：中田 昭雄、本社：東京都港区虎ノ門）は、エリア情報を調べ
るのに便利な i タウンページの運営やタウンページの受託業務を行っています。

明治 23 年、東京市内と横浜市内の間で日本初の電話事業が 12 月 16 日に開始されたことから、12 月 16 日は
「電話の日」となりました。それを記念し、事業開始に先立って、同年発行された日本初の電話帳に関するトリビアを
下記で紹介します。

日本初の電話帳、最初は1枚の紙だった！

日本で初めての電話帳が発行されたのは明治 23 年 10 月 9 日。最初は、「電話加入者人名表」と呼ばれる 1 枚
の紙でした。電話番号 1 番から 269 番まで番号順にお客様名のみが縦書きされ、住所の記載もされていないもの
であったと考えられています。

実は、当初予定していた加入数が集まらず、当時の逓信省電話局長自ら大学の講堂で電話機を前に宣伝活動を行
い、「電話器効用書」なる宣伝パンフレットを作成するなど、涙ぐましい努力の末に、東京 215 名、横浜 42
名の申し込みを獲得し、発行に至りました。

明治初頭、かけそば一杯の値段が 5 厘とも言われていた時代に、東京～横浜間の通話料は、日本初の電話帳発
行時、5 分で 15 銭という高額さが影響したのかもしれません。



現存するのはレプリカのみ。1枚紙の「電話加入者人名表」が
契約者の元に配布されたと記された文献が残っている。

天気予報の「177番」、元は大隈重信の電話番号！

「電話加入者人名表」には、1 番の東京府庁に始まり、官公庁、新聞社、銀行などに混じって、個人名も
多数掲載されています。三菱グループ創始者の岩崎弥太郎（160 番）や郵政事業の生みの親・前島密（248
番）といった名だたる名士の中に、早稲田大学創立者の大隈重信も名を連ねています。その電話番号は、な
んと、現在は天気予報の番号である「177 番」でした。実はこれには深い意味はなく、当時の電話番号は申
し込み順だったため、たまたま「177 番」が大隈重信の番号になったのです。



分厚い電話帳の別名「枕の電話帳」。名付け親はサトウ・ハチロー氏！

1897 年「電話加入者人名表」から「電話番号簿」への名称変更を経て、1950 年には、職業別広告欄付電話帳、別名「枕の電話帳」が発行されました。それは、総ページ数が約 2000 ページ、重さ 2.75kg、厚さ 10cm にも及ぶ大作で、詩人のサトウ・ハチロー氏が当時連載していた東京タイムスのコラム内で「枕の電話帳」と紹介されました。



1996年には、インターネットタウンページサービスが開始！

1951 年、初めて電話帳が職業別と人名別の 2 冊に分かれると、1971 年には「電話番号簿」から「電話帳」へ、1983 年には、50 音別電話帳を「ハローページ」、職業別電話帳を「タウンページ」へ、と名称変更されました。

ちなみに、タウンページが黄色いのは、世界的な「イエローページ」からきています。

1996 年には、インターネットの普及により、インターネットのタウンページサービス「i タウンページ」が開始されました。現在、「i タウンページ」は、日本全国の企業・ショップ情報を網羅しており、手軽なローカルサーチツールとして大活躍中です。



【参考】

2007年度末

(存在版)

	タウンページ	ハローページ	タウン＆ハローページ	合計
発行版数(版)	285	788	37	1,110
発行部数(千部)	55,653	54,720	2,594	112,966
本文掲載件数(千件)	14,988	29,911	1,889	46,788
総ページ数(百万頁)	35,599	10,466	1,639	47,704
広告掲載数(千件)	814	227	83	1,124
用紙量(千トン)	46.6	14.5	2.2	63.3